

平成 29 年度 経済環境常任委員会管内視察の概要

■視察日 平成 29 年 1 1 月 2 0 日(月)

■視察者 経済環境常任委員 (7 名)
早田順一 (委員長)、高野洋介 (副委員長)、城下広作
松田三郎、濱田大造、西山宗孝、岩本浩治

■視察先 (1)阿蘇中岳火口付近及び草千里
①草千里周辺(阿蘇満喫プロジェクト関係)
②阿蘇中岳火口周辺
③阿蘇火山博物館
(2)阿蘇地域の観光関係者との意見交換会
(3)熊本県災害廃棄物二次仮置場

■視察目的 次のとおり、今後の委員会審議の参考とするため、視察を実施しました。

- (1) 阿蘇中岳火口は、火山ガス検知器等安全設備の故障等により、観光客の安全確保ができないことから立入りが規制されている。
こうした安全設備の復旧状況等を視察し、火口周辺観光の再開の見通しなど、阿蘇観光の現状を把握する。併せて、世界水準の「ナショナルパーク」としてのブランド化を図ることを目標とする「国立公園満喫プロジェクト」に選定された「阿蘇くじゅう国立公園」の整備計画、阿蘇火山博物館の復旧状況等を視察する。
- (2) 阿蘇地域の観光は、平成 28 年 4 月の熊本地震により、国道 57 号など主要な観光ルートの寸断や、ホテル等の宿泊施設や観光施設等が被災するなど、大きな損害を被った。また、同年 10 月には、阿蘇中岳の噴火もあり、地域の観光に大きな影響が出ている。
現在の阿蘇観光の状況や課題等を把握するため、当事者である観光関係者と意見交換会を行う。
- (3) 熊本地震で発生した膨大な災害廃棄物について、熊本県では、災害廃棄物を迅速、円滑に処理するための広域調整や、被災市町村による処理が困難な事務について、地方自治法に基づく災害廃棄物処理に係る事務の受託により、県が処理を行っている。
こうした災害廃棄物の処理状況を把握するため、県が設置・運営を行っている災害廃棄物二次仮置場の作業状況や処理状況を視察する。

■視察の概要

(1)阿蘇中岳火口付近及び草千里

阿蘇登山道(安全柵)整備、草千里展望駐車場・デッキ整備等の事業予定箇所について県自然保護課から説明を受けた後、立入規制中の阿蘇中岳火口を視察しました。

火口においては、環境省阿蘇くじゅう国立公園管理事務所の担当官から、火山ガスに関する諸注意を受けた後、工事中の火山ガス検知器や安全柵、火の国橋の架け替えについて、説明を受けながら視察しました。

次に、阿蘇火山博物館において、同館の復旧状況のほか、阿蘇ユネスコジオパークの事務局としての取り組みなどについて説明を受けました。



(2)阿蘇地域の観光関係者との意見交換会

阿蘇管内市町村の観光協会長など8名の観光関係者との意見交換会を実施しました。

最初に、阿蘇地域の観光関係者の代表から阿蘇観光の現状について説明を受けた後、意見交換に入りました。

国道57号やJR豊肥本線等主要幹線が寸断されている中での誘客について、バスやタクシーを利用した周遊性の拡大、交通情報など統一した情報発信の必要性、Wi-Fiやクレジットカード等の決済方法など利便性の向上、外国人観光客の買物の傾向、阿蘇中岳火口付近の立入規制解除の必要性など、様々な話題について意見交換が行われました。



(3)熊本県災害廃棄物二次仮置場

災害廃棄物の処理の手順、処理計画の進捗状況等について県循環社会推進課から説明を受けながら、場内の処理施設を視察しました。

場内では、家電、金属類、プラスチック、ガラス類など廃棄物の種類ごとの分別や、手作業による異物の取り除きなど、処分先が受け取れる状態にするための細かい作業が行われていることや、木材をバイオマス発電の燃料として再利用するなどの減量化の取り組みについて説明を受けました。

